

令和4(2022)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	1,812	1,812	1,841	29	・料金収入は、鬼怒水における供給水量の増(宇都宮市、真岡市)による増
	その他収入	58	49	64	6	
	計	1,870	1,861	1,905	35	
支 出	人件費	243	206	225	▲ 18	・人件費は、水質課廃止に伴う人員減による減
	減価償却費	674	703	688	14	
	修繕費	229	153	183	▲ 46	・修繕費は、修繕計画の見直し等による減
	その他支出	702	701	631	▲ 71	・その他支出は、建設改良費の減に伴う固定資産除却費の減
	計	1,848	1,763	1,727	▲ 121	
経 常 損 益		22	98	178	156	

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	0	0	0	0	・その他収入は、太陽光発電の増設等に向けた設計業務委託に伴う国庫補助金の増
	その他収入	0	1	4	4	
	計	0	1	4	4	
支 出	建設改良費	399	377	237	▲ 162	・建設改良費は、工事内容や更新時期等の見直しによる減
	借入金償還金	106	106	106	0	
	その他支出	0	68	60	60	・その他支出は、ゴルフ事業の大規模改修に伴う施設管理事業会計への長期貸付による増
	計	505	551	403	▲ 102	
差 引		▲ 505	▲ 550	▲ 399	106	

剰余金残高	1,556		2,130	574	
-------	-------	--	-------	-----	--

借入金残高	256		258	2	
-------	-----	--	-----	---	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

経営指標による経営状況

	収益性				安全性		老朽化の状況		
	経営資本 営業利益率 ・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	営業収支比率 ・営業活動の比率で、高いほど良好	料金回収率 ・給水費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標	経常収支比率 ・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	流動比率 ・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	自己資本構成比率 ・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	有形固定資産減価償却率 ・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標	管路経年化率 ・法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合を表す指標	管路更新率 ・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標
	(単位: %)								
平成30年度決算値	1.27	115.27	117.31	118.23	3,351.55	87.12	57.66	37.99	0.00
令和元年度決算値	1.57	119.52	121.88	121.59	1,211.39	86.29	58.3	46.32	0.00
令和2年度決算値	1.14	113.66	115.92	116.97	1,271.30	87.74	57.18	46.32	0.00
令和3年度決算値	0.98	111.72	113.99	114.48	1,729.20	89.81	58.59	46.32	0.05
令和4年度決算値	0.64	107.24	106.17	110.33	2,204.97	90.90	60.69	46.32	0.00
全国平均(令和3年度決算値)	—	103.31	112.35	112.49	309.23	79.21	58.52	31.74	0.28
説明	<p>前年度並みの給水収益に対し、委託料や修繕費が増加したこと等により、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、料金回収率、経常収支比率の4指標は悪化した。給水費用は料金収入によって賄えていることに加え、営業利益・経常利益とも確保できていることから経営状況は健全であるといえる。</p> <p>また、経営の安全性を示す流動比率、自己資本構成比率は、全国平均を上回っており、経営基盤は安定しているといえる。</p> <p>一方、有形固定資産減価償却率では、償却資産の減価償却が約6割まで進んでいるが、日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでおり、特に問題はない。また、管路経年化率に対して管路更新率が低い。これについても、管路の劣化調査の結果や(公社)日本水道協会による研究結果等を基に標準使用年数(60年)を設定して更新することとしているため、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 料金回収率: 事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

水道事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 毎期、経常利益を確保し、健全な運営を確保します。
決算値	178百万円
評価	A
評価に係る説明	目標どおり経常利益を確保したため、A評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量(年間供給水量)	設備の故障等による 計画外給水停止件数	
目 標 値	R4年度 21,938千m ³	R4年度 0件	
実 績 値	R4年度 22,276千m ³	R4年度 0件	
評 価	A	A	
評価に係る説明	目標を上回る年間供給水量を達成したため、A評価とした。	目標どおり、計画外給水停止を発生させなかったため、A評価とした。	

(2) 取組実績等

経営方針	令和4(2022)年度の実績	令和5(2023)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	<p>○設備更新計画等に基づく設備の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3~R5、鬼怒:2台) ▶ろ過池原水弁更新工事(北那須:3台) ▶薬品沈澱池(1系排泥)空気源作動弁更新工事(北那須:16台) ▶2-1系薬品沈澱池フロキュレータ更新工事(北那須) ▶取水場油分検出装置更新工事(鬼怒) ▶ドローン購入(北那須) ▶設備更新等長期計画策定検討会の開催(6月、11月、3月) <ul style="list-style-type: none"> ・更新及び修繕計画並びに点検基準の見直し <p>○耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催(7月、11月、2月) <ul style="list-style-type: none"> ・管路更新等調査検討業務委託(鬼怒)の結果報告及び管路耐震化に向けたスケジュールの精査を実施 <p>○感染症対策等の徹底とBCPに基づく業務継続体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶テレワーク、Web会議の実施 <p>○実践的な防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練(地震)の実施(北那須:5、6月、鬼怒:6月) ▶受水市町等との共同防災訓練(北那須、鬼怒:12月) <p>○応急復旧体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶水道災害相互応援物資リストの提供(日本水道協会) 	<p>○設備更新計画等に基づく設備の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3~R5、鬼怒) ▶2系薬品沈澱池コントロールセンター盤等更新工事(R5~R7、北那須) ▶薬品注入設備更新工事(R5~R7、鬼怒) ▶上水1系薬品沈澱池フロキュレータ更新工事(R5~R6、鬼怒) ▶取水場電動弁更新工事(R5~R6、鬼怒) <p>○耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催 <p>○感染症対策等の徹底とBCPに基づく業務継続体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進 <p>○実践的な防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練 ▶受水市町等との共同防災訓練 <p>○応急復旧体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶水道災害相互応援物資リストの情報共有(日本水道協会)

経営方針	システムを構築する手法	令和5(2023)年度 of 取組予定
水質管理の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画(※)の見直しによるリスク対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水安全計画に基づき、適切に水質管理がされていたかの確認等を行う検証作業を実施(北那須:6月、鬼怒:5月) ▶水安全計画レビュー作業部会の開催(6月、11月、2月) <ul style="list-style-type: none"> ・水安全計画の見直し(3年ごと) ○水質検査の精度管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画の作成・HP公表(3月) ▶水質検査結果のHP公表(毎月) ▶水道GLPを取得した民間検査機関へ水質検査業務を委託(R4～R6、北那須・鬼怒) ○指定廃棄物の処分に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▶県の方針に基づき、鬼怒水道事務所保管の指定廃棄物について、環境省へ指定取消しの申出を実施(2月) ▶指定取消しの通知を受理(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○水安全計画の見直し後の検証によるリスク対応の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶水安全計画に基づき、適切に水質管理がされていたかの確認等を行う検証作業を実施 ○水質検査の精度管理の向上 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査計画の作成・HP公表 ▶水質検査結果のHP公表(毎月) ▶水道GLPを取得した民間検査機関へ水質検査業務を委託(R4～R6、北那須・鬼怒) ○指定解除後の廃棄物の処分に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ▶県の方針に基づく、鬼怒水道事務所保管の指定解除後の廃棄物処分
経費削減や適切な料金設定等による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な料金設定の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶北那須水道用水供給事業の料金見直しに向けた作業 <ul style="list-style-type: none"> ・料金算定に必要な設備更新計画の見直しを実施 ・R6～R10年度の受水量調査を実施(2月) ○供給水量の維持・拡大に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ▶北那須、鬼怒水道連絡会担当者会議の開催(北那須:1月、鬼怒:3月) ・受水市町における水道施設等の最適な利活用について協議 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な料金設定の実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶北那須水道用水供給事業の料金見直し <ul style="list-style-type: none"> ・R6～R10年度の料金を策定 ○供給水量の維持・拡大に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ▶受水市町における水道施設等の最適な利活用に係る協議・検討

※ 水道水源から送水に至る全ての段階において危害評価と危害管理を行い、安全で安心な水の供給を確実にする水道システムを構築する手法

経営方針	令和4(2022)年度の実績	令和5(2023)年度の実績予定
組織力の強化	<p>「栃木県企業局技術職員人材育成基本方針」を策定し、人材育成の施策や推進体制を明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別研修体系(水道及び工業用水道事業)に基づく研修の実施 ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶局内水道技術者研修会の開催(2月) ▶日本水道協会技術継承研修等の研修会への参加(10回、内Web1回) ▶職員の資格取得支援(第3種電気主任技術者2名、酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者2名、乙種4類危険物取扱者1名) ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶防災訓練時、管路施設GISを活用 ▶ドローンを購入し高所等の点検に活用 ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶大学・高校訪問による水道事業/工業用水道事業の魅力等のPR <ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問1校(9月、3月)、工業高校訪問9校(6月) ▶現場見学会の開催(8月、3月) ▶技術職インターンシップの受入れ <ul style="list-style-type: none"> ・今市工業高校3名(10月) 	<p>栃木県企業局人材育成基本方針に基づく取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ▶職位別研修体系(水道及び工業用水道事業)に基づく研修の実施 ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶局内水道技術者研修会の開催 ▶日本水道協会技術継承研修等の研修会への参加 ▶職員の資格取得支援 ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設GISを活用した情報の共有 ▶ドローンを活用した高所等の点検 ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶社会人経験者の積極的な採用及び再任用職員の計画的な配置 ▶採用の周知を図るため、以下の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や工業系高校訪問による水道事業/工業用水道事業の魅力等のPR ・技術職現場見学会の実施 ・工業系高等学校のインターンシップ受入れ ・電気職PR動画のYouTube公開
長期的展望からの経営改革	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査等業務委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○広域連携等の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道事業広域連携等検討会及びブロック別意見交換会への参加(5月、7月、8月、10月、11月) <ul style="list-style-type: none"> ・水道広域化推進プラン策定にあたり、推進方針や具体的な取組内容等における技術的事項について助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力の導入推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査等業務委託(R4～R6、北那須、鬼怒) ○広域連携等の取組推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶水道広域化推進プランに基づく広域連携に係る検討会への参加

経営方針	令和4(2022)年度の実績	令和5(2023)年度の実績予定
<p data-bbox="172 272 533 308">SDGs 達成への貢献</p> <div data-bbox="244 451 463 671">  </div>	<p data-bbox="533 201 1290 236">○安全・安心な水道用水の安定供給の推進</p> <ul data-bbox="533 236 1290 383" style="list-style-type: none"> ▶適正な施設の管理・運用による「人の健康と福祉」を確保するため、浄水場運転操作業務委託(R4～R6)を実施 ▶水質検査計画に基づく定期的な水質検査の実施 <p data-bbox="533 414 1290 450">○環境負荷低減(温室効果ガス削減等)に貢献</p> <ul data-bbox="533 450 1290 766" style="list-style-type: none"> ▶浄水場における太陽光発電を平成25年度から実施(北那須 発電電力量:52,151kWh) ▶太陽光発電の増設・新設に向けた太陽光発電設備設計業務委託を実施(北那須、鬼怒) ▶マイクロ水力発電設備の導入検討(北那須) ▶管理本館2階照明設備更新工事を実施し、照明設備のLED化を推進(北那須) ▶資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用(北那須・鬼怒合計:905t) 	<p data-bbox="1290 201 2047 236">○安全・安心な水道用水の安定供給の推進</p> <ul data-bbox="1290 236 2047 383" style="list-style-type: none"> ▶適正な施設の管理・運用による「人の健康と福祉」を確保するため、浄水場運転操作業務委託(R4～R6)を実施 ▶水質検査計画に基づく定期的な水質検査の実施 <p data-bbox="1290 414 2047 450">○環境負荷低減(温室効果ガス削減等)に貢献</p> <ul data-bbox="1290 450 2047 734" style="list-style-type: none"> ▶浄水場における太陽光発電を実施中(北那須) ▶太陽光発電の増設・新設に向けた太陽光発電設備設計詳細業務委託の実施(北那須、鬼怒) ▶民間事業者によるマイクロ水力発電事業の導入(北那須) ▶照明設備のLED化の推進(北那須) ▶資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・目標どおり経常利益を確保した。		(2)事業の取組実績等 ・ろ過池原水弁更新工事等を計画どおり実施した。 ・河川への油流出事故を想定した訓練や供給停止に伴う応急給水訓練を市町等と共同で実施した。 ・ドローンの配備等、点検作業の効率化を図った。 ・太陽光発電設備の導入に向けて設計業務委託を実施した。				評価
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・計画業務量は目標を上回り、計画外給水停止は目標どおり(0件)となった。						A
評価委員会の評価等						
【財務面】 経常利益を確保し目標を達成できている。						評価
【事業面】 計画業務量及び計画外給水停止件数のどちらも目標を達成できている。						A
【取組実績】 ろ過池原水弁更新工事等、強靱化が計画どおり進められているほか、ドローンの配備等、組織力の強化を図っている。						
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	A	A				
評価委員会の評価	A	A				

今後の取組課題・改善点等	
<ul style="list-style-type: none"> 適切な料金設定による収入の確保や効率的な工事実施等による経費削減を行い、財務基盤の強化に取り組む。 安全で安心な水道用水の安定供給を図るため、計画的な設備の更新や耐震化を進めるとともに、実践的な防災訓練を実施しハード・ソフト両面の強靱化に取り組む。 持続可能な社会の実現に向けて、水道事業を通じたSDGs達成に貢献する。 	

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		1,815	1,812	1,806	1,801	1,801
		当 初 予 算 額		1,815	1,812			
		決 算 額	1,826	1,828	1,841			
	そ の 他 収 入	計 画 額		51	58	57	52	52
		当 初 予 算 額		51	49			
		決 算 額	165	100	64			
支 出	人 件 費	計 画 額		248	243	239	237	233
		当 初 予 算 額		248	206			
		決 算 額	263	257	225			
	減 価 償 却 費	計 画 額		699	674	687	698	715
		当 初 予 算 額		699	703			
		決 算 額	667	684	688			
	修 繕 費	計 画 額		186	229	220	237	200
		当 初 予 算 額		186	153			
		決 算 額	191	126	183			
	そ の 他 支 出	計 画 額		666	702	643	627	645
		当 初 予 算 額		666	701			
		決 算 額	824	617	631			
経 常 損 益		計 画 額		67	22	74	54	60
		当 初 予 算 額		67	98			
		決 算 額	46	244	178			
剰 余 金 残 高			1,708	1,952	2,130			

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		0	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		0	0			
		決 算 額	0	0	0			
	そ の 他 収 入	計 画 額		1	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		1	1			
		決 算 額	1	0	4			
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		468	399	1,030	384	878
		当 初 予 算 額		468	377			
		決 算 額	871	402	238			
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		118	106	82	58	48
		当 初 予 算 額		118	106			
		決 算 額	126	116	106			
	そ の 他 支 出	計 画 額		8	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		8	68			
		決 算 額	8	0	59			
差 引	計 画 額		▲ 593	▲ 505	▲ 1,112	▲ 442	▲ 926	
	当 初 予 算 額		▲ 593	▲ 550				
	決 算 額	▲ 1,004	▲ 518	▲ 399				

借 入 金 残 高	480	364	258			
-----------	-----	-----	-----	--	--	--

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	1.57	0.98	0.64			
営業収支比率	決算値	119.26	111.72	107.24			
料金回収率	決算値	120.79	113.99	106.17			
経常収支比率	決算値	121.64	114.48	110.33			
流動比率	決算値	1,716.86	1,729.20	2204.97			
自己資本構成比率	決算値	84.38	89.81	90.90			
有形固定資産減価償却率	決算値	58.92	58.59	60.69			
管路経年化率	決算値	32.87	46.32	46.32			
管路更新率	決算値	0.00	0.05	0.00			

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
毎期、経常利益を確保	決算値		244	178			
	評価		A	A			

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間供給水量)	目標値		21,972千m ³	21,938千m ³	21,860千m ³	21,800千m ³	21,800千m ³
	実績値	22,389千m ³	22,123千m ³	22,276千m ³			
	評価		A	A			
設備の故障等による 計画外給水停止件数	目標値		0件	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件	0件			
	評価		A	A			